品質管理の説明書

年　　　　月　　　　日

1. 防炎製品の種類と事業内容

|  |  |
| --- | --- |
| 防炎製品の種類 | 事　業　内　容 |
|  |  |
|  |  |

1. 申請者の営業概要

（１）会社概要

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名  資本金  従業員数 |  |
| 品質管理責任者（役職）  不在時の代行者（役職） |  |

（２）会社組織図

（３）各部門の職務内容と責任の所在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部　　　門 | 職　務　内　容　と　責　任 | 職　務　責　任　者 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（４）工場等施設の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | | 所　在　地　・　連　絡　先 | 備　　　考 |
| 自　社　工　場 |  | TEL  品質管理責任者　： |  |
|  |  |  |
| 外　注　工　場 |  | TEL  担当者　： |  |
|  |  |  |

1. 検査基準

（１）資材の受入検査

* + - * 受入資材の品質が受入検査基準に適合していることを確認し、記録する。
      * 受入資材が防炎材料である場合は、受入資材に防炎材料ラベルが付されていることを確認し、その製品番号を記録する。
      * 受入検査基準に適合していない場合は、返品する。

（２）製品検査

①　抜取検査方法及び基準

* + - * 抜取検査は、品種毎かつ生産ロット（1ロット＝　　　　　　　）毎とする。
      * 試験方法は、「防炎製品性能試験基準」により行い、社内の合格基準は同基準値の

　　　％以内とする。

* + - * 防炎性能試験は、

その結果は、「防炎性能試験結果報告書」により、1年に1回以上、(公財)日本防炎協会へ報告する。

②　不適合品の処理

* 不適合品が発生した場合、速やかに改善策を講ずるものとする。
* 当該不適合品の改善が不可能な場合は、　　　　　　　　　　　　　する。
* 万一、不適合品又は不適合品と同一ロット品が防炎製品として出荷されていることが判明した場合は、直ちに回収等の処置をとる。

1. 設備・機器類の管理

（１）製造・処理設備

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | 名称（型式）、能力など | 設　置　場　所 | 備　　　考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（２）試験設備

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | 名　称　（型　式） | 設　置　場　所 | 備　　　考 |
|  |  |  |  |

1. ラベル管理及び協会に対する報告

(公財)日本防炎協会が定める「防炎製品ラベル取扱い及び品質管理に関する規程」を遵守、防炎製品ラベルの管理責任者を定めて「防炎製品ラベル交付申請書」、「防炎製品ラベル使用報告書」により管理し、ラベルの使用状況を「防炎製品ラベル使用報告書」により毎月1回、(公財)日本防炎協会へ報告する。

1. 外注管理

生産品の品質に関する外注工場の指導と管理を行う。ラベル表示を外注工場で行うときは、ラベル管理の基準を外注工場と打ち合わせ、明確にする。

1. 記録の保存方法及び保存期間

製造・処理記録、検査記録等、品質に関する記録及び保存は、　　　　 　　が担当し、当該記録は　　　年間保存する。